

科目名	高次脳機能障害学 I					授業の種類	演習	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	1	単位	配当学年時期	1年	前期
【授業の目的・ねらい】 失認・失行・視空間障害等について学び、高次脳機能障害がどのように起こるのか理解する。										
【実務者経験】 言語聴覚士として池田病院に勤務、高次脳機能障害のリハビリテーションに従事経験。										
【授業全体の内容の概要】 高次大脳機能障害に関する知識を習得し、検査、評価法を学び、リハビリテーションについて理解を深める。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 高次大脳機能障害の概要を把握、理解し、臨床場面での適切な検査・評価等を実施するための基礎を習得する。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	自己紹介、学生自己紹介。高次大脳機能とは？VTR、作文									
2	情報収集実習									
3	「脳」をイメージする									
4	脳の構造と機能									
5	局在と側性化									
6	疾患の概要									
7	脳のまとめ									
8	意識障害 解説と評価（演習を中心に）									
9	痴呆障害 //									
10	注意障害 //									
11	記憶障害 //									
12	前頭葉シンドローム //									
13	失認概要									
14	失行概要									
15	半側無視概要									
定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 標準言語聴覚障害学 高次脳機能障害学 医学書院										
【準備学習・時間外学習】 授業で行う内容の予習・復習をおこなってください。										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 試験は定期試験のみ実施とし、 60点以上の場合に科目を認定する。										